

精神科リハビリテーション学Ⅱ

担当教員 平川 泰士

配当年次 3年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 第2学期

授業形態 講義

単位数 2

【授業のねらい】

精神科リハビリテーションの概念と構成及びチーム医療の一員としての精神保健福祉士の役割について理解できる。精神科リハビリテーションのプロセスと精神保健福祉士が行うリハビリテーションの知識と技術及び活用法について理解できる。地域リハビリテーションの構成と社会資源の活用及びケアマネジメント、コミュニティワークの実際について理解できる。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	医療機関における精神科リハビリテーションの展開①（精神専門療法・家族教育プログラム）
2	医療機関における精神科リハビリテーションの展開②（精神科デイケア・SST）
3	医療機関における精神科リハビリテーションの展開③（医療機関のアウトリーチ）
4	医療機関における精神科リハビリテーションの展開④（チーム医療・多職種連携と協働）
5	精神障害者支援の実践モデル①（意味と内容）
6	精神障害者支援の実践モデル②（治療モデル・生活モデル）
7	精神障害者支援の実践モデル③（ストレングスモデルの理論的背景）
8	精神障害者支援の実践モデル④（ストレングスモデルをベースとしたアセスメント）
9	相談援助の過程及び対象との援助関係①（概論・ケース発見、インテーク、アセスメント）
10	相談援助の過程及び対象との援助関係②（プランニング・モニタリング）
11	相談援助の過程及び対象との援助関係③（エバリュエーション・終結、アフターケア）
12	相談援助活動のための面接技術①（面接の種類と原則）
13	相談援助活動のための面接技術②（面接技法）
14	スーパービジョンとコンサルテーション①（スーパービジョン）
15	スーパービジョンとコンサルテーション②（コンサルテーション）

【履修上の注意事項】

本科目は精神保健福祉士国家試験受験資格に必要な科目である。講義とあわせ、発表、グループワークなどの共同作業、課題レポートをもうけるため、積極的に参加することを求めます。また、指定された課題について、あらかじめ調べ準備を整え、不明な箇所については自身で調べ直す予習復習を求める。

【評価方法】

1. 理解度確認による試験評価（60%）
 2. 講義時指定の課題・レポート（40%）
- 再試は実施しない。

【テキスト】

日本精神保健福祉士養成校教会編『新・精神保健福祉士養成講座4 精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ』中央法規

【参考文献】

随時、講義時に指示する。